

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度かどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・挑戦し続けるたくましさの育成 ・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①②③④ 深い学びをいざこざなく実現できる授業への挑戦 「地域社会への発信」 「一人ひとりの子に居場所をつくる」	心豊かでたくましい生徒 自学・協調・健康	相手意識をもち考えを踏み出す	仲間と学ぶ共同学習	① 共に学びあい、意見交換を通して、自分の見方や考え方を広げる生徒 (「教え合い」から「学び合い」へ、仲間学びの進化)	知的好奇心を喚起したり、必然性を感じられたりする導入・課題化(ワクワク感の発現)	B	○「考えを深めたり新たな考えに気づいたりすることができた」と答えた生徒は96%で、目標値には達しなかったが、評価は高い。また、「自分の考えが伝わるように工夫している」とした生徒は91%と、目標値を大きくこえた。これらは、仲間と学ぶことを大切に授業を進めてきた成果だと考える。 ○「課題に自分から取り組む」とした生徒は97%だった。目標値の100%ではないが、ワクワク感のある課題の工夫等の成果ととらえている。 ○「ICTの活用による学習効果」を実感した生徒は100%だった。しかし、職員評価はさらに効果的な活用の仕方を探る必要性を感じているため、来年度も職員研修等を行っていく。
						学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考えに気づいたりすることができる生徒100%	A	
						授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができた生徒100%	A	
				仲間を学ぶ協働実践	① 相手意識をもち、自分なりの言葉や方法で工夫して表現する生徒	授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表できた生徒70%以上	A	
						ICTを活用した教育活動の推進	B	
				SDGs「夢プラン」	② 自分の殻を破り、「なりたい自分」に向かう。	「なりたい自分」の実現に向けてスモールステップの目標をもって粘り強く取り組む生徒を、認め励まし、自信を持たせる	B	
						「なりたい自分」に向けた努力ができる生徒 100%	B	
				② 誰とでもよさや課題を伝え、相手意識をもって仲間と協働し高めあえる生徒	② 生活の基礎・基本を身に付け、思考・判断してたくましく実行する生徒	自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じる生徒90%以上	A	
						授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる生徒90%以上。	A	
						携帯電話やスマホ、PCの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒90%以上	B	
				③ 久々野保小中学校運営協議会との協働	③ 地域の諸問題を追究し、そこで学び得たことを生かしながら、地域に発信し、貢献する。(学校独自のミッション)	地域の諸団体と連携し、久々野の諸問題について持続可能な未来を考え、発信することで、地域社会人としての資質・能力を育む	A	○「社会や地域に関心がある」生徒91%、「社会や地域に貢献したい」生徒97%と、いずれも目標値を達成した。また、保護者のふるさと教育に関する評価も90%と高い。総合的な学習の時間を中心に、地域のことを知るだけでなく、何ができるかを考えたり、その考えを保護者をはじめ地域の方々に広く発信したりした成果である。 ○上記の総合的な学習の時間の発表会やその他諸行事に学校運営協議会委員の方の参観や、意見をいただくなどできた。
						「社会や地域に関心がある」生徒90%以上	A	
						「社会や地域をよくするために何かしたいと思う」生徒90%以上	A	

学校運営協議会における主な評価内容

○話しやすい雰囲気の中で、一人一人が意見を主張し、それを周りが認める姿がある。
○総合的な学習の時間など、久々野町の事を考えることはいいことである。「地域で子どもを育てる」という意識をみんなで共有し、地域行事も児童生徒が積極的に参加できるように進めていく。
○校則の改正など、子どもが主体となって考え、取り組む経験が大切。